

# ムハンマド ナズィ フ ハ リド エジプト出身の元キリスト教徒

:

明:

ムハンマドは他の 宗教からは 出すことのできなかつた、イスラ ムの 味を り立てたてられた 面につ  
いて述べます。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ムハンマド ナズィ フ ハ リド

日 1 Aug 2015

集日 31 Aug 2015



私はエジプト アラブ共和国のマンサ ラ市で、宗教をあまり重要 しない一般的なキリス  
ト教徒の家庭に生まれました。私たちは祝祭日以外には教会に行くことはありません  
でした。私たちにとって宗教とは必要な に行う一 の 礼でしかありませんでしたし、そ  
れらの 礼における言 も理解していませんでした。それらを理解してはいなかったもの  
の、私の家族は 知な者たちが るような盲目的な狂信の状 で、その を知らないにも わら  
ず、それを失うことを怖れていました。私自身は、一 たりともそうした感情を持つこ  
とはありませんでした。教会の集会はあまりにも退屈すぎたため、一度も最 まで座り  
通したことはありませんでした。私はいつも倦怠感と焦燥感にとらわれており、自分  
は彼らの一 ではないということに 信を抱いていました。いにしへの偶像崇 者たちの寺  
院のように 画やイコン、偶像で たされた 所に、私は 和感を感じていました。その 私は

えることの無い欲望と情 から に 中するようになり、それによって私の能力や知 は刺激を受けるようになりました。

数々の疑 が私の に浮かぶようになりました。それは未 拓の地に甘美な果 をもたらず良の を くために を起こしているかのようでした。そのときから、自分が生まれ育った宗教に する疑念を抱くようになり、それは私の考え方を暴力的に、そして完 なきまでに叩き しました。全能なる神が人 という形をとって地上に降り立ち、罪人たちが彼に暴力をふるい、彼の に唾を吐き、最 的に拷 した上に十字架に磔にしたという（キリスト教 の）主 に し、私の心は感情的に、私の は 理的にそうした概念を拒 しました。たとえば、それがキリスト教徒たちが言うように、彼らの父であるアダムの罪を赦すためという名目であったとしてもです。神には三位一体という概念があることも、それを真 としては めませんでした。なぜなら神が唯一であるなら、何一つとして神に比べ得るものはないはずだからです。

三位一体 とは、最 的には神の唯一性を分割させてしまうもので、神の 光はそうした 解とは く なものです。イエス キリストの十字架への磔が人 に する 罪となること、そして父子 から成り立つ三位一体といった信条が、キリスト教、言い えるならイエス キリストの神格性における根本教 です。私はそうした信条を自分の考え方や信念、 信の中から完全に排除しました。そうして全ての りや 信を取り除いたのです。

彼らは、知 を通して健全な信仰を得ることは不可能であるといいます。なぜなら、それは人 の がり知るには崇高すぎるからだそうです。しかし私は、もし人 が正しく知性 を 使し、欲望や固定概念、既成のイデオロギ を除外するならば、 にアッラ への るぎない信仰という富を、かれの至高なる全能性とかれのまばゆいしるしの中から 出すことができるはずだと 信じています。それらを知るのであれば、私たちは羞 心と 力感の中に服 するしかないのです。それゆえ、私は 固たる信仰へ く疑念の山を り越え、イスラムというアッラ の真の宗教に辿り着いたのです。

## 示宗教



